



守谷 浩一 議員 《日本共産党》

### 有機フッ素化合物の 検出問題の原因分析と対策を

有機フッ素化合物に対する環境省の暫定指針値は、PFOSとPFOA合計で1リットル当たり50ナノグラムとなつていますが、2021年10月の水質検査では、本市の第3水源から暫定指針値を超える数値が検出されたため、取水を一時的に停止しています。「湧水さまっぴ」では、第3水源に流入する地下水はキャンプ座間の東側を通ると読み取れますが、実際に通る場所を伺います。また、県のホームページにある「有機フッ素化合物に関するQ&A」では、PFOSの主な用途は、金属メッキや泡消火剤などで、PFOAの主な用途は、繊維や

電子基板などと記載があります。第3水源のPFOS、PFOAそれぞれの値と検出された値から考える原因や対策について、見解を伺います。  
**環境経済部長** 地下水総合調査の結果から、第3水源周辺の地下水は、本市の北東方向から南西方向に向かって流動していることが分かりました。水質検査の結果は、PFOSの値が高いため、座間市地下水採取審査委員会と情報共有を図り、今後の対応の参考にします。

**上下水道局長** 第3水源は、PFOSが1リットル中64ナノグラム、PFOAが1リットル中15ナノグラムです。

### 児童、歩行者の 安全対策の推進を

荻原 健司 議員 《自民党・いさま》

小田急線で鉄道事故が発生した際の踏切を通る通学路の安全対策について、市内で鉄道事故が発生した場合は、消防本部から教育委員会を経由して各小学校に情報を展開すること、下校時に通学路変更の混乱を避けられるという提案に、迅速な対応をいただ

ています。令和2年2月には地元の自治会長、芥川県議会議員、私の3名で1622筆の署名を当該飲食店の本社に届けましたが、その後の工事の進捗について伺います。  
**都市部長** 県に確認を取り、歩道の拡幅、整備に向けて令和4年度予算を計上し、現在は用地取得の契約段階であり、令和4年度後半から工事に着手する予定と伺っています。

きました。また、県道である行幸道路の歩道拡幅工事について、本市域では相模が丘一丁目の飲食店前を残して、ほぼ完成し

害出動する際の渋滞情報などの共有について、今後、近隣消防本部と意見交換などを行い、情報共有していきたいと考えています。



清水 剛 議員 《自民党・いさま》

### 本市の福祉施設について

福祉施設として本市が委託している、こころの相談支援センターについて、利用者が電話をしてもつながらない状態があったと聞いています。その経緯を伺います。また、I型の地域活動支援センターで通常業務ができなくなるほどの大きなトラブルが発生したこと、事業者にも不安と動揺が生じたと考えます。

事業者と行政の双方から相談ができる体制のさらなる強化が必要であると考えます。福祉サービスを担っている全ての事業者との連携強化を進めることで、事業者の安定的な経営が実現し、障がい者への

さらなる支援強化につながる考えますが、市長の見解を伺います。  
**市長** 福祉施設が持続可能な運営をすることは、本市の福祉行政にとっても大変重要なことであると認識しており、連携強化等の取組にも力を入れていきたいと考えています。

### 富士山噴火による除灰 戸別収集も対応検討

竹田 陽介 議員 《自民党・いさま》

富士山火山防災対策協議会は、富士山の噴火による被害想定を示したハザードマップを令和3年3月に改定しました。大規模噴火が与える経済への影響は、首都圏に降る火山灰が最も大きく、噴火時の天候や風向きで変わりますが、最大約4・9億立方メートルの火山灰を除去する必要がありますと分析されています。この量は、東日本大震災後に除去した災害廃棄物の約10倍と言

われています。本市において、除灰した灰はどのように処理するのか、考えを伺います。また、降灰による水源への影響と対策を伺います。  
**環境経済部長** 各家庭から

排出された除灰は、回収場所を集積し、市や収集請負業者等が収集することを想定しています。灰を自ら清掃することや市の指定場所まで運ぶことが困難な方には、状況に応じて、戸別収集も対応策の一つとして検討していきます。  
**上下水道局長** 本市は、地下水を主な水源としており、表流水を取水して、沈殿池を用いて浄水する浄水施設がないため、降灰による影響は少ないと考えています。また、降灰により停電が発生する可能性もあるため、取水及び排水設備等の運転が継続できる方法などを研究していきますが、維持管理に努めます。



安田 早苗 議員 《座間市公明党》

### 災害弱者の災害時支援について

人口呼吸器や吸引器などを在宅で使用している医療的ケア児者にとつて、地震や台風による停電は、命の危機に直結します。長時間の停電に備えて非常用電源の用意が必要ですが、たんの吸引や体温調節のための電気毛布に使用するバッテリーは2、3台必要となり、大きな経済的負担が生じます。いつ起こるか分からない災害に備えるために、生命維持装置が欠かせない災害弱者の命を守る取組として、早急に自家発電や外部バッテリーなどを日常生活用具の給付対象にするべきと考えますが、見解を伺います。また、福祉避難所について、受入対

象者を特定し、公示する制度にして、対象者が一次避難所を経由せずに直接福祉避難所に避難すべきと考えます。さらに、医療的ケア児者が避難する福祉避難所を指定して、非常用電源を確保することについて見解を伺います。  
**福祉部長** 今後、日常生活用具の給付対象として自家発電機や外部バッテリーなどを追加する検討をしていきます。また、避難所の公示制度の導入及び直接避難について、支援対象者等の意見を伺いながら研究していきます。避難所の電源確保については、今後、具体的な作業を進める中で検討していきます。

フェアトレードとは直訳すると「公平・公正な貿易」であり、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することによって、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す貿易の仕組みのことです。日本で日用品や食料品が驚くほど安い価格で販売されているのは、開発途上国の生産者や労働者との貿易が公平・公正ではなく、アンフェア、不公平・不公正な状態となっている場合があり、立場が弱い開発途上国の生産者や労働者へのしわ寄せによって、その価格が成り立っているという現状があります。フェアト

### 公平・公正な貿易 フェアトレードについて

上沢 本尚 議員 《座間市公明党》

リードは、こうした現状を少しでも改善するためのサイクルを作っていく運動とも言えます。  
**第五次座間市総合計画**でSDGsへの貢献について定めようとしている本市として、フェアトレードへの取組について、所見を伺います。  
**市長** フェアトレードについて言及いただき認識を新たにしました。本市では、現在、フェアトレードに対する具体的な取組やその推進団体に関する情報収集、推進団体との連携、協力などは特段行っていないませんが、先進市の取組なども参考に研究していきたいと考えています。

フェアトレードに対する具体的な取組やその推進団体に関する情報収集、推進団体との連携、協力などは特段行っていないませんが、先進市の取組なども参考に研究していきたいと考えています。

次の陳情は、6月定例会の都市環境常任委員会で審査が行われましたが、閉会中の継続審査に決まりました。  
陳情第27号 新たなパートナーシップ制度についての陳情

### 請願・陳情の 提出について

請願・陳情はいつでも受け付けています。提出された請願・陳情は3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。第3回(9月)定例会で審査をする請願・陳情は、令和4年8月15日(月)までに議会事務局へご提出ください。

なお、定例会ごとの締切日は、議会事務局にお問い合わせください。  
☎046(252)8872

### 議案書の貸し出しについて

傍聴される方に、審議している内容等をご確認いただけるように議案書の貸し出しを行っています。  
数に限りがありますが、希望される方は、傍聴受付時に係員にお申し付けください。